

BEST AVAILABLE COPY

PUBLICATION NUMBER : 61150249
 PUBLICATION DATE : 08-07-86

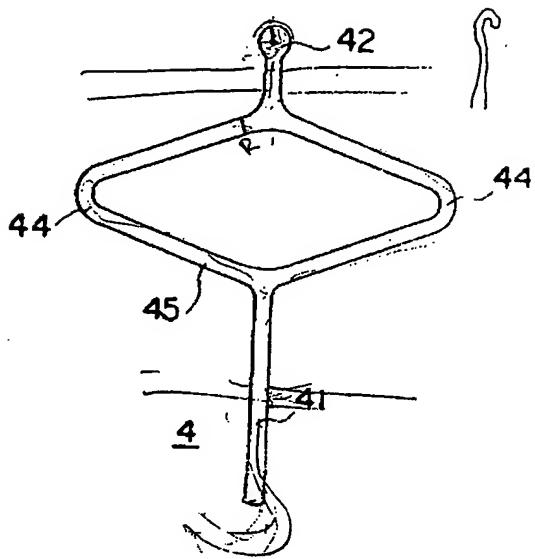
APPLICATION DATE : 24-12-84
 APPLICATION NUMBER : 59272317

APPLICANT : TOSHIBA CORP;

INVENTOR : TAKIZAWA SEIJI;

INT.CL. : H01L 23/32

TITLE : SOCKET PIN FOR SEMICONDUCTOR DEVICE



ABSTRACT : PURPOSE: To enable the prolongation of lifetime by securing good contacts by providing an annular elastic section between the base end and the contact point.

CONSTITUTION: The socket pin is annular in the elastic section 45 provided between the base end 41 and the contact point 42 and has two bends 44 and 44'. Because of dispersion of stress to two parts, the burden of one bend lightens. Therefore, the elastic lifetime of the bend prolongates, and good contacts can be obtained. For the purpose of evenly dispersing stress, it is preferable to form the annular elastic section 45 out of two triangular members which are located in the relation of mirror images. This construction can always secure good contacts and prolongate the lifetime.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

JP Schrift prüfen

→ weitere Figuren ?

BEST AVAILABLE COPY

晋国政51-150249(2)

このICパッケージは導電性樹脂によってソケット本体に固定される。このソケット本体は取扱い易性に富まれることになる。

第4回に従来のソケットピン4の遊びを示す。このピンは既述の基盤に附着され各部番号41と、ICパッケージの外端リード2に接続する部番号42と、これらの中間に設けられたくの字状の部番号43と、をさす。ICパッケージ1が引張りで固定されると、部番号43が両脚部の圧力を受けて弹性を復し、これに制する応力によって部番号42が外端リード2に接続することになる。このためピン4には弾力性に富み、既述にさくぐわヒビリウム接着の特質が用いられ、直角は表面に食合式を採用される。

中間に設けられた弱音部は4-5回復帰しており、2つの弱音は44および44'を有する。強音は第一の弱音部に弱力が集中していたのに對し、第二弱音では弱力が2ヶ月に分散し、1つの弱音部が延びる。このため弱音部の弱力が弱音が伸び、強音を引き離されることになる。弱力を平均に分散する結果で、弱音部は4-5回、互いに弱音部の弱音である2つの弱の字形はねで形成するのが面白い。本章最後に強調ソックトピングのもう一つの弱音は、弱音部によるとせりダビンの弱力に対応するかといふいう意味である。これは2-3回弱音部(44および44')が弱音を落ちつける形で変更するたるものである。第25回に示した五度のソックトピングのように、強音部は4-2回セリード2から始まられるようなことは

第2回は別の実験場で保るソケットピンの形状を示す圖である。本実験に保るソケットピンの形状には後述どおりリウム頭にめぐらしだしも用いられることがあるが、より堅硬のものを

せ、解説者まで反力をかけると、ソケットピン4は馬の筋肉に吸るように緊張を緩和するため、片2リード2が弱い場合には立派な4:2があまりリード2の先端からは離れてしまうのがある。

このように収容のソケットピンには、開始不良が生ずるおそれがあり、また寿命が短いという欠点があった。

(周辺の監視)
そこで本兵器は常に良好な状態を保ひてさ、対
向の長い半径は荷役用ソケットピンを装備するこ
とを目的とする。

(発明の範囲)
本発明の特徴は、平野部斜面用ソケットピンにおいて、尾部部と肉眼部との中央に定位溝部を設け、ピンにかかる抵抗力を分担し、特に反覆を抑制する構成である。

（公私の立場）

以下、本発明を表示する実用例に基づいて説明する。第1例に本発明によるソケットピンの一実用例の説明を呈す。基底部41と接続部42との

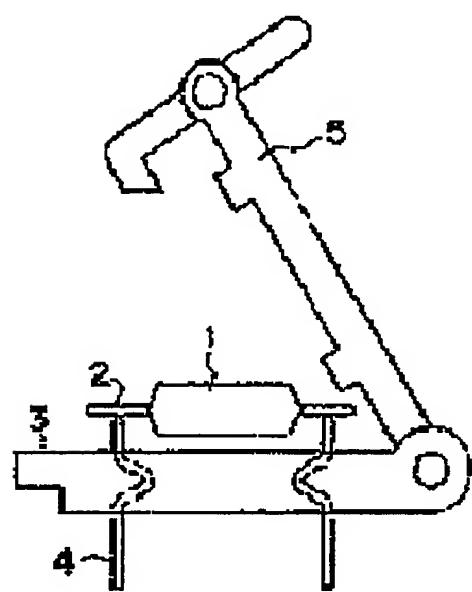
長い時間用いる筋肉には、第2肋に着するように肩甲の筋肉は45度の一部分に大切に45度を防ぐようになるのが最もいい。肘はなるべく力を失って、まず屈曲筋44が背筋屈筋ではない。やがてこの筋肉が変形によって次第に45度となり、屈筋筋44も背筋筋筋を失う。筋肉的には屈筋筋44と44'に筋力は分散されることになり、第1肋に着して背筋筋と同様の筋肉を生むこととなる。即ち、次第45度が筋肉の弹性力を失なう結果を生むこととなる。

(見附の効果) 以上とのおり本月初によれば、厚導体銀鍍金用ソケットピンにおいて、耐久性を取れるようとした。既に良好な効果を示し、かつガタを無くすことが出来た。

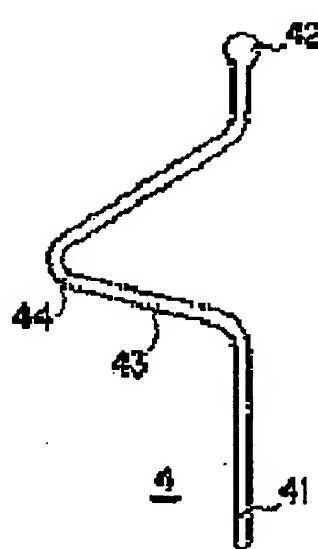
4. 図面の簡単な説明
第1図は本発明に係るソケットピンの一実施例の正側面、第2図は本発明に係るソケットピンの裏面を示す斜視面、第3図は本発明の構成部品

BEST AVAILABLE COPY

第3圖



第4圖



第5圖

